

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日 R5.6.23

担当 課名 生涯学習課

グループ名 生涯学習グループ

記入者名

1 事業概要

(1)事業名	学校施設開放事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業							
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別											
①基本目標	豊かな心をはぐくむまちく教育・文化の振興	①会計区分	一般会計									
②大項目	スポーツ	②財源区分	町単独									
③中項目	スポーツ施設の充実と開放	③予算科目	款	10	項	5	目	2				
④施策	学校体育施設開放の推進	④予算事業名	学校施設開放事業費									
⑤施策コード	2・2・3・2	掲載ページ	34	ページ								
(6)実施根拠	(7)総合戦略											
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無									
②根拠法令	スポーツ基本法											
③事業期間	開始	不明	年		月	から	終了	未定	年		月	まで

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)		
地域のスポーツ活動の場として、学校体育施設を有効利用するため、町立小・中学校の体育施設を町民に開放して、地域のスポーツの推進を図る。	町内全小・中学校(小学校5・中学校3)のグラウンド・体育館を開放する。開放にあたっては、教育委員会と学校で学校開放運営協議会を組織して、開放日程や施設の改善などを協議する。さらに、各学校ごとに利用者協議会を設置して毎月1回利用者会議を開催し、翌月の利用日程を調整する。利用できる団体は、町内に在住、在勤又は在学する10名以上で、かつ成人の監督者を有する団体で、教育委員会に登録した団体とする。		
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
町民	学校教育に支障のない範囲で、スポーツ・レクリエーションの場として開放することで、健康の維持、体力づくりや地域のコミュニティ活動が活発になる。		
対象数	施設利用団体登録 83	単位	団体

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

屋内競技に対する需要が多く、学校開放事業に対する町民のニーズは高くなっている。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称					
	学校施設開放事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳						
報酬	0	0	0	0	0	0
報償費	270	270	270	233	240	
需用費	574	577	570	503	507	
役務費	180	180	180	160	160	
委託料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
直接事業費合計	1,024	1,027	1,020	896	907	
(3)財源内訳						
国庫支出金	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他特定財源	600	340	420	480	576	
一般財源	424	687	600	416	331	
合計	1,024	1,027	1,020	896	907	
(4)補助金名						
(5)人件費						
投入職員数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
年間人件費	2,315	2,292	2,288	2,263	2,309	
(6)総事業費	3,339	3,319	3,308	3,159	3,216	
サービス量(件)	2,785	1,634	2,545	2,843	3,500	
サービス単価	1.2	2.0	1.3	1.1	0.9	
(単位)	千円/利用1回あたり					

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		学校施設開放事業費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	利用団体数	目標値	団体	100	100	100
		実績値	団体	87	83	
		達成率	%	87.0	83.0	
	目標値					
	実績値					
	達成率					
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	使用回数	目標値	回	3,500	3,500	3,500
		実績値	回	2,545	2,843	
		達成率	%	72.7	81.2	
	学校体育施設開放利用者数 (総振目標指標p35) R7年度目標値 64,000人/年	目標値	人	64,000	64,000	64,000
		実績値	人	49,946	59,409	
		達成率	%	78.0	92.8	
(3)その他指標に現れない成果						
高齢化等による会員数減のため解散する団体があった。 令和3年度より使用回数、利用者数はナイター分を含めている。						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価	評価理由	評価した理由を選択してください。		
必要性	事業の必要性	1 1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている		
				2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である		
				3 その他()		
妥当性	実施主体の妥当性	1 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている		
				2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である		
	3 その他()					
手段の妥当性	1 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している			
			2 他に有効な代替手段が見当たらない			
			3 その他()			
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1 1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	1	1 サービス単価は減少している		
				2 サービス単価を維持している		
				3 その他()		
公平性	受益者の偏り	1 1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている		
				2 おおむね公平に分配されている		
				3 その他()		
有効性	成果の向上	1 1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている		
				2 成果指標は、前年度より向上している		
				3 その他()		
進捗度	事業の進捗	1 1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した		
				2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した		
				3 その他()		
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
多くの団体が継続して登録し利用しているので、住民ニーズは高い。 時期によっては、大会等が土日集中するため、利用者との調整を図る必要がある。 学校の統合による施設数減という問題で、住民に対して利用機会の調整等が課題となっている。						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)	(3)最終評価 (町長)			
評価	2					
説明	学校教育に支障のない範囲で、継続して事業を実施。					